

蝶々夫人

Madama Butterfly

G.Puccini 全3幕ハイライト版(日本語字幕付き)

垣岡敦子 AMORE ~愛の歌 VOL.8

没落した元武家の娘、蝶々さんの誇り高い生きざまと、
そのあまりに残酷な結末……

蝶々夫人
垣岡敦子

ATSUKO KAKIOKA

ピンカートン
宮里直樹
NAOKI MIYASATO

スズキ
但馬由香
YUKA TAJIMA

音楽監督・ピアノ
村上尊志 TAKASHI MURAKAMI

2023
4.2 日 15:00開演
(14:30開場)

銀座・王子ホール

全指定席 一般12,000円 学生10,000円 ※未就学児入場不可

チケットぴあ t.pia.jp (Pコード232-093)
前売 CNプレイガイド www.cnplayguide.com 0570-08-9990
王子ホールチケットセンター 03-3567-9990
カンフェティ 0120-240-540 www.confetti-web.com



チケットぴあ

©FUKAYA Yoshinobu/auraY2

主催：オフィスA1 舞台監督：八木清市 照明：株式会社フラットステージ 字幕：株式会社アルゴン社

衣裳：松竹衣裳株式会社 かつら：株式会社丸善 マネジメント・ご予約・お問合せ：Shin・En 新演コンサート 03-6384-2498 www.shin-en.jp

胸に秘められた元武家としての誇りと 純粋に信じ耐え抜くピンカートンへの“愛”とその芯の強さ 咲き誇るはずの愛の花は、もがれた羽と共に散った…

あらすじ

舞台は明治20年代の長崎

没落した元武家の娘、芸者の蝶々さん（15歳）は、アメリカ海軍兵のピンカートンとお見合い結婚します。純粋無垢な蝶々さんとピンカートンは幸せな時を迎えますが、その時間は長く続きませんでした。ピンカートンはアメリカに帰り、アメリカで別の女性と結婚してしまいます。希望を失った蝶々さんは、ピンカートンとの間にできた子供を残し、自ら命を絶ち幕は閉じます。

聴きどころ

歌劇「蝶々夫人」の全幕の中には、「さくらさくら」「越後獅子」「お江戸日本橋」などの日本の伝統音楽や民謡の旋律が折り込まれています。

当時のイタリア駐在公使夫人の助言で、ブッチェーニは日本文化や風習をオペラに取り入れることができました。第1幕の「愛の二重唱」、第2幕の「ある晴れた日に」などが有名です。

ソプラノ・オペラ歌手 垣岡敦子 Atsuko Kakioka

同志社女子大学学芸学部音楽科声楽専攻を首席で卒業。同大学頌啓会特別専攻科修了。

国内外において数々のオペラをはじめソロリサイタル、デュオリサイタルに出演。

2000年にイタリアに渡り、ミラノ音楽院にてミラノスカラ座の副指揮者D・マッソーラ、同劇場アカデミアボイストレーナーのM・ピアンカ・カゾーニ、G・カネッティ、林康子他各氏の元で研鑽を積む。

イタリア・ヴァルセージアの歌劇場で《ラ・ボエーム》のムゼッタでイタリアデビューを果たしたあと、ミラノを拠点にスペイン各地などで数々のオペラやコンサートに出演し、特にウィーン楽友協会での第九のソロは、超満員の聴衆を魅了した。スペインの公演では、音楽雑誌「L'OPERA」に「素晴らしい響きを持ったソプラノ、特に高音は羨む伸びのある柔らかい響き」と掲載された。

いずみホール（大阪）で行われた「垣岡敦子ソロリサイタル」に対し大阪文化祭賞奨励賞を受賞し「その声は、透明感に溢れる美しい声と独特の華がある舞台」と絶賛された。また、読売新聞主催のブッチェーニ生誕150周年記念コンサート「日韓オペラコンサート」にてテノールの市原多朗氏と共に日本代表として選出された。

東京では、新国立劇場 中劇場にて、日本初演オペラ《ラ・フィアンマ》《復活》の難役の主役他多数のオペラで主役を歌い、日本人離れた声と容姿は、新聞他各方面より絶賛を博した。また、ハクジュホール、銀座・王子ホール、紀尾井ホールでのリサイタルに続き、サントリーホールにて日本フィルハーモニー交響楽団との共演を大成功させた。

日本クラシック音楽コンクール最高位をはじめ、イタリア・コレテミリア国際コンクール2位、RE・SE・JONG国際コンクール3位などを受賞。

2枚のCD「Cuore ～心の響～」（東芝EMI）、「AMORE ～愛の歌～」をリリース。

藤原歌劇団、日本オペラ協会会員、日本演奏連盟会員。

2009年イタリアより完全帰国、現在東京在住。

垣岡敦子オフィシャルサイトwww.atsukokakioka.com/



©FUKAYA Yoshinobu/auraY2



©FUKAYA Yoshinobu/auraY2

宮里直樹 (テノール) Naoki Miyasato

東京都出身。東京藝術大学声楽科首席卒業。同大学院オペラ科修了。明治安田QOL文化財団、ローム・ミュージック・ファンデーション奨学生。ウィーン国立音楽大学オペラ科にて2年間学ぶ。声楽を多田羅迪夫、ラルフ・デーリング、ジャコモ・アラガルの各氏に師事。

これまでに小林研一郎、尾高忠明など著名指揮者のもとN響を始めとする国内主要オーケストラと共演。その他上海交響楽団、チャイナ・フィルハーモニー管弦楽団、LVIVフィルハーモニックオーケストラと共演。《愛の妙薬》ネモリーノ、《ラ・ボエーム》ロドルフォ、《椿姫》アルフレード、《蝶々夫人》ピンカートン、その他多くのオペラにて主役で出演。2022年新国立劇場《ばらの騎士》にてテノール歌手役で出演。ベートーヴェン「第九」「荘厳ミサ曲」、ヴェルディ「レクイエム」、ロッシェニ「スターバト・マーテル」、ドヴォルザーク「スターバト・マーテル」、マーラー「千人の交響曲」等、いずれもソリストとして多数の宗教曲コンサートでも活躍している。NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」、NHK-BS「クラシック倶楽部」等に出演。イタリア・ガルダ湖にて毎年開催されているムジカ・リーヴァ・フェスティバルにて2016年、2018年に出演。2020年、2021年、2022年と3年連続でNHKニューイヤヤー・オペラコンサートに出演。

第23回リッカルド・ザンドナーイコンクール第2位。第48回日伊声楽コンクール第1位。五十嵐喜芳賞、歌曲賞受賞。

第10回東京音楽コンクール声楽部門 第2位(1位なし)、同時に聴衆賞受賞。その他受賞歴多数。二期会会員。http://naokimiyasato.com

但馬由香 (メゾソプラノ) Yuka Tajima

メゾソプラノ歌手。武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。藤原歌劇団団員。第31回飯塚新人音楽コンクール第1位。藤原歌劇団オペラ《ラ・チェレントラ》(シンデレラ)のティーズベでデビュー以降、《椿姫》アンニーナ、《ランスへの旅》モデスティーナ、《どろぼうかささぎ》ピッポ、《カルメル会修道女の対話》シャルレ修道女、《ノルマ》クロティルデ、《セビリアの理髪師》ペルタなどを務め、2018年《ラ・チェレントラ》アンジェリーナで初のタイトルロール、2019年《蝶々夫人》スズキで出演し、いずれも好評を得ている。新国立劇場には、2020年《夏の夜の夢》ハーミアとして抜擢され、2021年《蝶々夫人》にて出演したスズキでも高い評価を得るなど、活躍の場を広げている。

また、ベートーヴェン「第九」「荘厳ミサ」、ヘンデル「メサイア」、ベルゴレージ「スターバト・マーテル」、ヴィヴァルディ「グローリア」、モーツァルト「レクイエム」「戴冠ミサ」、ロッシェニ「小荘厳ミサ」等、宗教曲のソリストも務めておりコンサートにも多数出演している。2014年発売藤原歌劇団CD「Bravi! vol.2」、2021年藤原歌劇団ARオペラブックに演奏収録される。



©FUKAYA Yoshinobu/auraY2

村上尊志 (ピアノ) Takashi Murakami

藤原歌劇団や新国立劇場のオペラ公演で、コレパティトゥーア＝歌手に音楽稽古をつけるピアニストとして活躍。指揮者、歌手、演出家から絶大な信頼を得ている音楽スタッフで、オペラの他、声楽のリサイタルやアンサンブルに欠かせない存在である。これまでに、東敦子、林康子、市原多朗、出口正子、折江忠道、幸田浩子、G.カゾッラ、G.ジャコモニ、R.ブルゾン、M.デヴィアア、M.アルバレス等の声楽家とコンサート、リサイタルで共演。1990～91年、文化庁芸術家在外派遣研修員としてミラノへ留学。スカラ座の指揮者／ピアニストのD.マッソーラ氏に師事。ミラノ、フィレンツェ、パリでのコンサートに出演。またヴェルサイユ劇場の《コシファン・トゥッテ》で練習ピアニストを務めた。1997年秋より3年間、ローム・ミュージック・ファンデーションの奨学金を得、再度イタリアに留学した。静岡国際オペラコンクールの公式ピアニストを第1回目より務めている。現在、東京藝術大学オペラ科及び声楽科講師。



新型コロナウイルスに関するお客様へのお願い

- ご入場には十分な距離の保持や体調確認等に時間を要します●ご入場時の検温で高熱（37.5度以上）の方・症状のある方はご入場を見合わせて頂きます。何卒ご理解下さいませ
- 会場内ではマスクを正しく着用いただき、会話やブラーゴなどのお声かけはお控えください●ご入場前に手指消毒をお願いします●出演者へのご面会は出来ない場合がございます